

2. 障害者基礎調査の結果について

資料②

アンケート分析（主だった箇所を抜粋）

質問	結果	分析
街なかで障害のある人の手助けをしたことがあるか (P 39)	手助けをしたことがある（47%） ※前回より16%減	①から、外出しにくい環境要因がある可能性がある。
助けなかった理由 (P 39)	①見かけたことがない（41%） ②家族や介護者など同伴者がいた（24%） ③どのように助ければいいのかわからなかった(11%) ④障害のある人から「助けてほしい」と声をかけられなかったから（9%）	③④未だ、障害への理解が浸透していない面もある
障害のある人を支援する施設を知っているか（P 40）	「よく知っている」「なんとなく知っている」の割合 ・就労施設（79%） ・居住施設（86%） ・児童が通う施設（70%）	どの施設も7～8割の人が知っている
自身が生活する身近な地域に障害のある人が生活するための施設ができることになったらどう思うか（P 41）	「賛成」「どちらかといえば賛成」の割合 ・就労施設（91%） ・居住施設（91%） ・児童が通う施設（92%）	どの施設も9割の人が受け入れる意向 ⇒地域共生への意識は高い
障害のある人を支援する施設はどこに作るのが適切だと思うか（P 42）	・街なか（27%） ・住宅街のなか（16%） ・街の中心部から離れた場所（23%） ・分からない（26%） ※前は、 ・街なか（24%） ・住宅街のなか（12%） ・街の中心部から離れた場所（25%）	どの地域もほぼ横並び 「分からない」が減って、「街なか」「住宅街のなか」が増えている ⇒どの地域に作ってもよいという意識が高くなっている
障害がある子どもが学ぶ環境について、どこで学ぶのがよいと思うか（P 42）	・子どもの能力に応じてどこで学ぶかを選択する（56%） ・特別支援学校、特別支援学級（35%）	ニーズに合わせた多様な受け入れ先が望まれている
障害のある人が働く環境について、どこで働くのがよいと思うか（P 43）	・本人の能力に応じてどこで働くかを選択する（73%） ・就労支援施設（20%）	

質問	結果	分析
<p>現在、日本の社会に、障害のある人に対して、障害を理由とする差別があると思うか（P44）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ある」（40%） ・「少しはある」（50%） <p>※前回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ある」（35%） ・「少しはある」（45%） 	<p>障害を理由とする差別への関心や意識が高まっている</p> <p>差別を解消するための合理的配慮の取り組みを進める必要がある</p>
<p>障害がある人のために、企業や民間団体が行う活動について、どのようなことを望むか（P45）</p>	<p>「強く望む」の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スロープの設置等の環境整備（65%） ・施設の建設（39%） 	<p>ハード面の整備をより望まれている</p>
<p>障害がある人のために、行政が行う施策について、どこに力を入れる必要があると思うか（P46）</p>	<p>「強く望む」の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化などのインフラ整備（57%） ・障害に対する理解促進（49%） ・福祉サービスの充実（47%） ・就労の支援（45%） 	<p>様々な分野への取り組みが望まれている</p>
<p>福祉サービスを充実させるうえで、行政と地域住民の関係はどのようにあるべきと思うか（P47）</p>	<p>福祉課題については、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである（62%）</p> <p>※前回は49%</p>	<p>地域共生社会への共感が徐々に得られている</p>